

学習指導要領 (体育理論)

単元名 (H 体育理論 大単元名 例:運動やスポーツの多様性)…中学校 第1学年

単元目標(大単元 or 小単元) ※基本は大単元

学習指導要領(解説)の大単元の説明文(□の中)を記載する。ただし、「知識」は、小単元に関連する文を記載してもよい。※「～こと」で終わっているのを、「～理解できるようにする。」または「～を身に付ける。」に変える。「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」も、□の中を記載するが、「～こと」で終わっているのを、「～を身に付ける。」に変える。 ※体育理論では「知識及び技能」の「技能」はないので ⇒「知識」と記載する。

本時の目標(小単元)

「知識」は、小単元に関連する文の中の「～理解できるようにする」の内容を記載する。「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」は単元目標と同じ。

単元計画(大単元の指導計画)※基本は小単元を1単位時間で指導することとして記載

学習指導要領(解説)では、中学校の大単元は小単元が3つで構成されている。高等学校では、大単元が4つの小単元で構成されている。
主な内容は、「～理解できるようにする」の文を要約した文や単語等を記載する。

回	小単元名	主な内容(「～理解できるようにする」の内容を簡略化)
1～	〇〇	1 〇〇 2 〇〇

○単元の評価規準(大単元名に次の語句を加えて記載) ※観点の表記が変わっています。

<知識>

<思考・判断・表現>

<主体的に学習に取り組む態度>

大単元名の後に次の内容を加えて「観点別評価規準」にすることもできます。

<知識>…(大単元名)〇〇について、(課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、内容を)理解している。※()内は省略してもよい

<思考・判断・表現>…(大単元名)〇〇について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。

<主体的に学習に取り組む態度>…(大単元名)〇〇について、(課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、)学習に〇〇的に取り組もうとしている。※()内は省略可

中学 1, 2…積極的 中 3 高 1…自主的 高 2, 3…主体的

○学習活動に即した評価規準(小単元名の後に次の内容を加えて記載してもいいです)

<知識>…(小単元名)〇〇について、(課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、内容を)理解している。※()内は省略可

<思考・判断・表現>…(小単元名)〇〇について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。

<主体的に学習に取り組む態度>…(小単元名)〇〇について、(課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、)〇〇学習に〇〇的に取り組もうとしている。※()内は省略可

〇〇学習…グループ学習 調べ学習 など

中 1, 2…積極的 中 3 高 1…自主的 高 2, 3…主体的

体育理論の授業展開例

●本時のねらい、目標、キーワードなど ※生徒にわかりやすい表現

<知識及び技能> <思考力、判断力、表現力等> <学びに向かう力、人間性等>	} その日に指導する内容やねらい・観点の内容 ※生徒に掲示するのは分かりやすい表現にする
--	---

●本時の展開例 ※質問を用いた授業パターン 様式は佐藤方式

段階	学習内容と学習活動	教師の指導・支援	評価の方法・観点
はじめ	○本時のねらい、キーワード、流れの提示と説明を記載		評価の方法 (観察や学習カード)
なか	○前回の学習内容の復習や本時の学習に関する質問 ○予想される回答 ・個人及びグループでの活動 調べ学習や話し合いなど ○課題の設定(本時のねらい) ○新たな知識の学習 ○新たな知識を活用した本時のねらいや目標への質問や支援等 ○今までの知識と新たな知識を活用した課題解決のための活動 ○新たな知識を活用した将来の健康行動を思考・判断・表現活動 最初の質問 質問時の注意 今持っている知識や経験で答える 最初の質問 振り返りの質問 新たな知識 新たな知識を活用して課題解決や理解をしようとしているか 新たな知識を活用して課題解決や理解をしようとしているか 新たな課題	質問時の注意 今持っている知識や経験で答える 最初の質問 振り返りの質問 新たな知識を活用して理解しようとしているか メタ認知能力 メタ認知能力について(奈良教育大学) ・メタ認知とその働き メタ認知の「メタ」とは「高次の」という意味です。 つまり、認知(知覚、記憶、学習、言語思考など)することを、より高い視点から認知するということです。	
おわり	○本時のねらい等の振り返り ○次の学習に向けての課題等の整理	○本時のねらい等に関する講評 ○次回の内容説明	